

おけのこ

瀧廉太郎没後120年

瀧 廉太郎像（大分市遊歩公園）

佐藤県政、初の定例会を招集 2023年 第2回定例県議会



県民とともに「力強い推進力」で
ふるさと大分県を新たなステージへ

七月五日に招集された二〇二三年第二回定例県議会は、八月二日に上程議案に対する採決が行われ、二十九日間にわたる全会議日程を終えました。

佐藤知事が所信表明

本定例会は、四月の統一自治体選挙で新しく県知事に選ばれた佐藤樹一郎知事により招集された初の定例県議会でした。

佐藤知事は開会冒頭に所信表明を行い、「新型コロナウイルスの次なる感染拡大への備えを固める一方、あらゆる物価高騰の課題に対応しつつ、ふるさと大分県を『力強い推進力』で新たなステージへと発展させていく決意である」と、述べました。

三つの基本姿勢を徹底

続いて知事から県政に臨むにあたり、次の三つの基本姿勢が示されました。

①対話…県民一人一人の

声が政策の原点であり、現場に足を運び対話を重ねながら県政に反映していく。

②継承・発展…県民中心の

県政を継続・継承しつつ、時代の要請や潮流の変化に対応し、新しい大分県づくりに的確かつ果敢に取り組む。

③連携…県下十八市町村

や国はもとより経済・労働界、NPO等とも連携する。何よりも県民と連携することで県政推進の原動力としていく。

過去最高額の積極予算

以上の基本姿勢と県政執行方針に基づき編成した総額四百七十二億五千九百万円の補正予算が提案されました。

これにより、当初予算に今回の補正予算を加えた令和五年度の一般会計総額は七千二百四十六億一千百万円と、過去最高額の積極予算となりました。

「安心天気」「未来創造」の大分県づくりに向けて

今議会により今年度から始まる新たな県政の本格予算が成立しました。様々な課題が山積するなか、誰もが安心して住み続けたいと思う大分県、知恵と努力が報われる大分県、誰もが訪れたいと思う大分県づくりに全力を尽くさなければなりません。

議会 本代会議 代表質問

詳細はHPから 大分県議会 検索

県民クラブ代表質問

多くの課題を抱える県政において、どのように向かい解決の道筋をつけるのか等佐藤知事に問うこととし、次の十六項目に関し、県民クラブ代表の玉田輝義議員（豊後大野市選出）が代表質問を行いました。

一、県政運営にあたっての基本的な考えについて
① 県政の課題解決に向けた基本姿勢

② コロナ禍後の国と地方自治体との関係

③ 人口減少への対応

二、交通体系の整備について

① 豊予海峡ルート

② 中九州横断道路の整備

③ 大分空港の活性化

三、産業施策について

① 賃金引き上げ

② 企業誘致

③ 農業における環境負荷の軽減

四、県民の安全・安心の確保について

五、共生社会について

① 人権を尊重する社会づくり

② ヤングケアラー

③ 旧優生保護法

六、教育行政について

① 夜間中学

② 不登校への対策

七、生成AIについて

特定小型原動機付自転車について

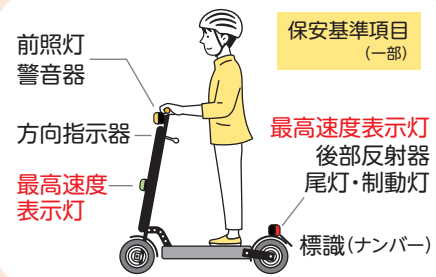
本年7月1日から「道路交通法の一部を改正する法律」が施行され、一定基準を満たす場合の電動キックボードの交通ルール等が変更となるほか、違反を繰り返す者に「特定小型原動機付自転車運転者講習」が義務づけられることとなりました。

【車両の規格・要件など】

- 車両・電動機の規格
 - ・定格出力0.6kw 以下
 - ・最高速度20km/h
 - ・長さ190cm×幅60cm
- 他の要件
 - ・最高速度表示灯が備えられていること
 - ・道路運送車両法上の保安基準に適合していること
 - ・自動車損害賠償責任保険（共済）の契約をし、その自賠責標章（ステッカー）を貼付していること
 - ・標識（ナンバープレート）を取り付けていること
- その他
 - ・免許不要（16歳未満は運転禁止）
 - ・ヘルメット着用は努力義務

【特定小型原動機付自転車運転者講習】

- 対象：特定小型原動機付自転車です道通行などの特定の違反（17類型）を3年間で2回以上繰り返した者
- 内容：運転者としての資質の向上、特定小型原動機付自転車の運転に必要な知識等に関する講習
- 講習手数料：3時間6,000円



総括討論で登壇

本会議や委員会での議論等を踏まえ、上程議案に対する県民クラブとしての総括討論を行いました。議案に賛成する立場で臨みつつ、財政健全化の維持や「豊予海峡ルート」など、各種施策の推進にあたり留意すべき点や課題等を指摘し討論しました。

補正予算の概要

今回可決された補正予算は、人口減少対策をはじめ農林水産業の成長産業化や中小企業の振興、将来を見据えた未来創造の取組といった意欲的な施策を積極的に盛り込んだ結果、一般会計総額が過去最高額となりました。

<補正後の一般会計予算>

補正額の合計	47,259百万円
既決予算額	677,352百万円
累計予算総額	724,611百万円

<事業概要> ※主な事業を抜粋（事業費は累計額）

■物価高へ対応と社会経済活動の活性化(10事業)

▶LPガス等価格激変緩和対策事業

エネルギー価格の高騰により影響を受ける、LPガスの一般消費者等や特別高圧契約で受電する中小企業に対して支援する。

- LPガスの一般消費者等に対する助成
支援額 3,000円/契約
- 特別高圧契約で受電する中小企業に対する助成
支援額 3.5円/kWh（9月分は1.8円/kWh）

※対象 令和5年1月～9月
【2,065,000千円】

1. 安心元気（安心）

■子ども・子育て（5事業）

▶おおいた子育てパパ応援事業

男性の積極的な子育てを応援するため、父親や企業に対する意識啓発等を行う。

- 父親同士のコミュニティづくりの推進
- 企業に対する父親向け出前講座の実施 など

【14,789千円】



■防災減災・危機管理（13事業）

▶おおいた防災・減災対策推進事業

災害に強い人づくり・地域づくりを推進するため、市町村などが行う避難所の環境改善や地域の防災活動等に対し助成する。

- 避難所等の環境改善 補助率1/3～1/2
 - 地域で行う避難訓練などの防災・減災活動 補助率1/2
 - 避難路等の整備 補助率1/2
- 【100,000千円】

■移住・定住（1事業）

▶若年者移住サポート事業

若者の移住を促進するため、「転職なき移住」の推進に向け、都市圏のリモートワークが可能な企業等に対する働きかけを強化するとともに、ニーズにあった情報発信や移住に向けた転職支援を行う。

- 県外企業等向けモニターツアーの実施
 - 相談員による若年者向け伴走型キャリアサポートの実施 など
- 【37,946千円】

2. 安心元気（元気）

■農林水産業（19事業）

▶おおいた園芸産地づくり支援事業

大分県の顔となる園芸品目を育成し、生産拡大を図るため、短期集中地域支援品目（ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリーズ）の「生産拡大計画」や市町の「園芸産地づくり計画」に基づき、認定農業者等が行う栽培施設の整備等を支援する。

【2,075,328千円】



■商工業（7事業）

▶中小企業等デジタルスキル向上支援事業

中小企業等のDX化の第一歩を後押しし、各社の課題を解決するため即戦力となるデジタル人材

の育成とデジタルツール導入をワンストップで支援する。
【31,653千円】

■ツーリズム・観光産業（3事業）

▶国内誘客総合推進事業

デスティネーションキャンペーン（2024年4月～6月）における誘客効果の更なる向上と県内での観光消費拡大を促進するため、旅行者を対象とした地域クーポンを発行する。

- 対象：1万円以上の宿泊及び旅行プラン（日帰り旅行含む）
 - クーポン額：3,000円/人・泊
- 【283,402千円】

3. 未来創造

■カーボンニュートラル・GX（5事業）

▶エネルギー関連産業成長促進事業

県内のエネルギー関連産業の成長を促進するため、大分県エネルギー産業企業会を中心に、本県の強みを生かしたエネルギー関連施策を展開する。

- 水素ステーションの設置や水素燃料電池車両の導入に対する助成
 - 水素燃料電池トラック等の県内導入に向けた運用実証など
- 【154,661千円】



■先端技術：DX（5事業）

▶次世代モビリティサービス活用促進事業

今後の市場拡大が期待される次世代空モビリティの活用により地域課題を解決するため、用途・機体・ルート等の調査・実証を行う。

【37,172千円】



最近の活動

4月

▶第94回メーデー

大分県中央大会

4年ぶりに屋外会場での本格開催。スローガンは「支え合い・助け合う社会をつくり、暮らしをまもる！笑顔あふれる未来をめざし力を合わせ、ともに進もう！」。

▶大分県知事・大分県議会議員選挙

▶参議院補欠選挙、大分市長選挙、大分市議補欠選挙

▶共生型地域づくり勉強会（オンライン参加）

▶大分県議会世話人会



5月

▶さかのせきビーチ

クリーンアップ作戦

（こうざき海岸）

34回にわたり継続されてきた活動に参加。海洋ゴミの増加が大きく注目されるなか、SDGsの取組目標（海の豊かさを守ろう）に賛同しての実施。

▶内外情勢調査会「岸田政権の課題と日本政治の行方」講師：政治アナリスト 伊藤惇夫 氏

▶大分県議会第1回臨時会（正副議長選出ほか）

▶おおいたホームタウン推進協議会

▶豊府校区防災士協議会総会

▶自主防災組織役員及び防災士等フォローアップ研修会



▶第42回 地方×国 政策研究会（東京都議会）

本年4月の地方自治法改正を受け「市民自治を基本とした地方行政・議会のあり方」、今話題の「紙保険証の廃止とマイナンバー制度のこれから」について研究を深める。



6月

▶県議会常任委員会

県内所管事務調査

今期、初めて文教警察常任委員会に所属。これで6つの常任委員会すべてを経験。県内各地の教育事務所や学校施設、警察関係の施設を調査。（写真は県警鑑識科学センターにて指紋採取を実演）。

▶大分政経懇話会「映画を早送りで見ると本物の魅力は伝わるのか？」講師：キネマ旬報社 稲田豊史 氏

▶連合大分「拡大政策・制度委員会」

▶朝倉文夫生誕140周年記念「猫と巡る140年、そして現在」開会式・内覧会

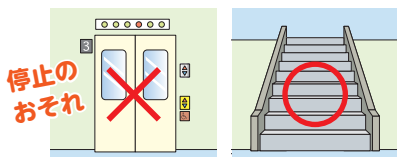
朝倉氏は、豊後大野市朝地町出身の彫刻家。自然主義的写実を貫き、日本の彫塑界をリードする中心的な存在として活躍。「東洋のロダン」、無類の愛猫家としても知られる。



外出先で地震に遭遇したら①

地震発生時、職場や外出先にいることも当然あり得ます。自宅にいる時以上に危険が潜んでいることを意識しておきましょう。

揺れが収まって避難する場合、余震や停電でエレベーターが停止するおそれがあるので、階段を使って避難します。



また、街頭にいる場合は、ビル等からの落下物から身を守り、建物の倒壊に注意しながら公園など安全な場所へ退避しましょう。

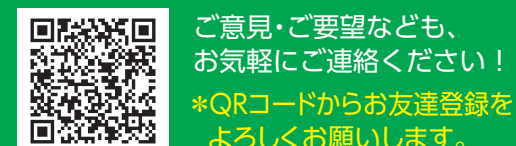
広い場所に逃げる余裕がない場合は、耐震性の高い新しい鉄筋コンクリートのビルに逃げ込みます。



都会の繁華街などの人混みで地震に遭遇した際、最も恐れるのがパニックになることです。人の多い場所こそ、冷静な判断と行動が求められます。



公式LINEはコチラ
木田昇の議会・政務活動を随時更新中。



県民クラブHPIはコチラ
<https://kenmin-club.com/>



竹の子記

昨春秋に公開された対話型の人工知能「チャットGPT」は、世界に衝撃を与えています。私も試しましたが、誰もがその高度な能力に驚愕したことでしょう。国際的に見ると、人工知能の利用に対する方針は分かれています。EU連合は規制する法整備を進めるなど慎重ですが、米国は自主規制を中心とし、比較的自由な姿勢です。日本政府は「AI戦略会議」の論点整理を経て、懸念されるリスクを列挙するなどしています。米国のスタンフォード大学など自治体によって「チャットGPT」などの生成AIの活用に関する方針はまちまちですが、慎重にとしつつも積極的に使おうとする事例が多くなっています。▼私は否定的に感じています。▼議事録で議員がAIを使うことは許されるのでしょうか。▼「熱意を込める」「雰囲気や行間を読む」といったことは、今のところAIには不可能だと思っています。▼米国の映画「ターミネーター」のように、そう遠くない将来、人類が文明科学の進歩を制御できなくなるのではと危機感を抱くのは私だけではないと思います。皆様はいかがでしょう。